

水前寺かいわい 100ヶ所めぐり









学校・施設 歴史・文化 信仰・鎮魂 水遺産関連 生物・樹木

※No. I ~ 6 へは要入園。
友の会会員(年会費:一般 1000円、砂取・出水校区 在住の特別会員200円)は |年間、何度でも入園可。

水前寺活性化プロジェクトチーム 連絡先 090-2079-7313 (前渕) mail: hyakkashomeguri@yahoo.co.jp

ب زورت
1,533
BA240.6
2317V I V:
IN NOVEL

No.	名称	内容
I	水前寺成趣園	国指定名勝・史跡の大名庭園。細川忠利が設けた御茶屋を起源に、綱利が大規模に作庭し 陶淵明の詩にちなんで「成趣園」と名付けた。「水前寺」は忠利創建、玄宅開山の寺号。
	泉水と神水「長寿の水」	泉水は湧水と地下水(阿蘇山系伏流水)の汲み上げによる。神水「長寿の水」は飲用可。
	細川幽斎銅像・忠利銅像	忠利像は出水神社鎮座100年記念の1979年、幽斎像は没後400年の翌年2011年に建立。
	園内文学碑と記念碑群	明治天皇臨幸碑、夏目漱石句碑、宗不旱(ソウフカン)歌碑など文学碑・記念碑が多数点在。
	肥後六花等の季節の花	梅園、桜の広場、藤棚、肥後六花名園などで四季折々の花を楽しむことができる。
2	出水神社	西南戦争からの復興を願い1878年に創建。創建時からの祭神に幽斎・忠興・忠利・重賢。 後に歴代藩主と忠興室の玉(ガラシャ)を合祀。熊本空襲で焼失した社殿を1973年再建。
	春季祭典・秋季例大祭	県重要無形文化財「武田流流鏑馬保存会」が流鏑馬式、茶道「肥後古流」が献茶式奉納。
3	稲荷神社	1809年 月、細川斉茲が京都伏見稲荷より勧進した境内末社。初午祭は3月の初午。
4	水前寺菜栽培地	キク科の多年草で「金時草」とも称される伝統野菜のモデル圃場。参道の商店で苗も販売。
5	能楽殿	元の建物は1965年に焼失、86年に旧八代城主松井家から移築。8月に薪能が奉納される。
6	古今伝授の間	幽斎が智仁親王に古今集の奥義を伝授した学問所の建物を1912年に移築復元。県重文。 田辺城の戦いが幽斎を案じた勅命により講和した故事を伝える「古今伝授の松」を展示。
7	出水神社参道	にぎわい市や年末の餅つきなどのイベントが開催される表参道。水前寺菜の苗を販売。
	出水神社大鳥居	幽斎没後300年の1910年御影石製大鳥居が熊本地震で倒壊。2020年度に木製で再建予定。
	熊本地震復興ミニ鳥居	倒壊した大鳥居の部材を使用し、震災記憶の継承のために設置。側にはさざれ石の展示も。
	水前寺終点跡	大鳥居前は1907~20年の廃止まで軽便線の終点。24~43年の健軍延伸まで市電の終点。
	デザインマンホール「ケロロ軍曹」	2019年、熊本市下水道創設70周年を記念して2種4基制作された1つ。
	水前寺餅	明治末の往時には10店舗以上で販売されていた名物。現在は1店舗のみでの販売。
8	水前寺廃寺跡	8世紀後半以前の寺の塔跡と思われる心礎と礎石が残る。市指定史跡。

気にする活動です。マップを手にまちを歩いてみましょう。

	水前 守廃 守跡	8世紀後半以前の寺の塔跡と思われる心礎と礎石が残る。市指定史跡。
No.	名称	内容
ŀΙ	出水小学校	砂鳥小(1875)→碧水小→三友小→出水小(1889~)。1903年から現在地。
	オオエノキ	1906年の運動場拡張時に隣地境界に在った学校のシンボル樹。樹齢 20年以上。
12	出水村役場跡	旧庁舎は個人の住居として使用されていたが、熊本地震後に解体された。
43	三友小学校跡記念碑	1884~89年の出水小の前身。今村、国府村、長溝村の小学校が合併して創立された。
44	国府高校	194 年、商工会議所立女子商業学校として創立。 98 年、現地に移転し共学化。
	大賀ハス(古代ハス)	
45	がっぱ堀と七曲り道路	水路を「がっぱ堀」と通称し、木山往還は「七曲り道路」で白山・本山方面へ向かう。
46	国府一丁目緑地(椿苑)	1980年竣工。園地の元所有者の椿氏にちなんで「椿公園」として親しまれている。
¥7	白山神社	┃ ┃国府白山神社を略して「国府神社」とも称された。境内には石造物群、市保存樹木群。
48	閣雲寺	┃ 浄土真宗仏光寺派の寺院。明治初期まで私塾の「嘉悦塾」があったという。
19	出水中学校	1947年学制改革で熊本商業学校寄宿舎を仮校舎に開校。5 年現在地に移転。
	熊本青年師範学校跡碑	熊本農業教員養成所の流れをくみ1944~51年熊本大学教育学部との統合まで所在。
	<u></u> 火の神さん	石碑を祀って1999年に鳥居と説明碑が整備された。8/18には地元子供会によるお祭り。
	熊本支援学校	1973年「熊本養護学校」として農業高校敷地内に新設、75年現校舎が完成した。
50	出水南小学校	1980年出水小学校から分離し熊本農業高校跡地に開校。
		1899年創立、1948年熊本農業高校に改称、74年元三町に移転。同窓会は「南園会」。
5 I	出水菅原神社	で原道真と歳神(トシガミ)を祀る。近隣にあり熊本地震で被災した現人神社も合祀。
52	観音堂	行基作と伝えられていた観音が紛失し新調。お堂は2000年の新築。毎年9/17に観音祭。
53	佐々亮齋の銅像	11 季行と伝えられていた戦争が初大し利嗣。 お室は2000年の利衆。 毎年9/17に戦争宗。 「熊本吟詠の父」と呼ばれる。濟々黌創立者、佐々友房の甥。
54	2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	1879年、砂鳥小が住民の手で専用校舎を建設して移転した際、校名も変更した。
55	砂取橋	10/74、砂馬小が住民の子(専用校告と建設して移転した際、校石も変更した。 市道(旧木山往還)の橋。戦前は料亭が建ち並び賑わった。県道(電車通り)の橋も同名
66		中国 (旧本田住壌) の偏。戦制は科学が延ら並び賑わった。宗道 (電車通り) の偏も向名 明治時代の創業から1984年に現在地に移転するまであった東濱屋の庭園跡。
57	東濱屋庭園跡・馬頭観音の祠 砂取地蔵堂裏水神	
		昔はここの湧水で味噌樽を洗っていた。下に六体の地蔵が埋まっているとの伝承。
8	アルコール会社跡記念碑	1908年「肥後酒精」創立、「日本酒類」、「協和発酵」との合併を経て1980年閉鎖。
59	市総合体育館・青年会館	1986年開館。『潮風(石原昌一)』『森(坂田憲男)』『涌水(野田健郎)』など展示。
	『鳴龍(堅山南風)』下絵	日光東照宮薬師堂『鳴龍』の復元時の下絵を天井展示。下で手を叩いた際の残響音も再現
	神水遺跡(出土品の展示)	施設建設時の出土品や遺構を紹介。一帯は縄文・弥生時代から人々の生活の場だった。
60	県立図書館・くまもと文学歴史館	1985年図書館が千葉城町から移転。玄関前に落成記念の『花咲く乙女に(本田貴侶)』。 移転時に併設した熊本近代文学館を2016年「くまもと文学歴史館」としてリニューアル。
	内藤濯(アラウ)文学碑	熊本出身のフランス文学者。サン・テグジュベリの『星の王子様』の翻訳者。
51	旧砂取細川邸庭園	細川斉護正室・顕光院の隠居屋敷跡。『五足の靴』に登場する「勢舞水楼」、料亭「江津 花壇」、井関農機保養所「江津荘」などに変遷。水神が祀られ、カワセミも飛来する。
	 希首座(キッソ)の鎮守堂	↓
	高浜虚子の句碑	「縦横に水の流れや芭蕉林」1928年、芭蕉林に遊んだ時の句。江津荘時代の55年建立。
52	加勢川	江津湖随一の景観。湧水を汲み上げるために設置された石段を水汲場(クミズ)と呼ぶ。
53	芭蕉 園	芭蕉が群生し、春夏は街中のジャングルの風情。汀女をはじめ多くの文化人が愛した。
	阿部小壺(ショコ)句碑	「産卵の鯉の刎(ハ)ねをり江津朧(オボロ)」ホトトギス同人の熊本の歌人。
	水前寺もやし栽培地	現在は芭蕉園内のここでのみ湧水で栽培される江戸時代からの伝統的ひご野菜。
<u></u>	市指定保存樹木「肥後山茶花」	民家の庭に市指定保存樹木「ヒゴサザンカ7本」。晩秋に花を咲かせる。
55	夏目漱石句碑	「ふるひ寄せて白魚崩れん許(バカ)りなり」1897年、江津湖白魚漁を詠む。
66	中村汀女句碑	「とどまればあたりにふゆる蜻蛉かな」1932年の句。県近代文化功労者、名誉市民。
7	くまもとホタルの里100選碑	1991年、熊本県ホタルを育てる会が選定した100選に上江津湖湧水群が選ばれた。
8	ゾウさんプール	
0		
	バス停「江津遊園地前」	かつてはこの付近に有料の渡しがあり「江津遊園地前」バス停が対岸の江津塘に現存する
C	江津湖風致地区表示板	都市計画法に基づく風致地区に1930年当初から江津湖と成趣園(水前寺に改称)が指定。
9	スイゼンジノリ発生地	国指定天然記念物指定地。高級食材の水前寺のりは、将軍家への献上品だった。
70	上江津湖湖畔トイレ	くまもとアートポリスプロジェクトの完成第一号。1990年グッドトイレ10など受賞。
7 I	江津湖	近世の江津塘築堤による人造膨張湖。日量約40万㎡の湧水量の湖に約600種類の動植物が生息し、環境省2016年公表の「日本の重要湿地」にも選定されている市民のオアシス。
	上江津湖中の島	6・26水害の廃土などで造成。周辺の江津湖遺跡群からは弥生時代初期の遺物も出土。
	江藤ボートハウス	1877年創業のレジャー施設。伝統的な屋形船が存続。
	江津塘	 慶長年間、清正時代の築堤で「清正堤」とも称される。精鑞の原料となるハゼ並木だった

Vo.	名称	内容
7	玄宅寺	細川忠利創建の「水前寺」を継承する曹洞宗寺院。寺号は開山の玄宅禅師から。
	摩利支天(マリシテン)像	細川家の守護神として、代々玄宅寺境内の石祠に祀られている。
	地獄絵図	全11幅。江戸中期の作で後に細川家御用絵師が補完。毎年えんま祭(7/16)で開帳。
0	江村塾跡	慶応初期、医者江村悰益が開いたとされる私塾。国漢、詩文、和歌等を教授したという。
П	昭和初期2つの博覧会	「新興熊本大博覧会(1935年)」「支那事変と産業博覧会(38年)」の開催地。
2	後藤是山(ゼザン)記念館	郷土の文化の掘り起こしに尽力した名誉市民、後藤是山(1886-1986)の足跡を展示。
	是山旧居「淡成居(タンセイキョ)」	 1927年から晩年まで過ごした。命名は蘇峰。庭先には蘇峰が贈呈した銀杏の樹が現存。
	 徳富蘇峰詩碑	
3	知事公舎	1967年県庁移転に伴い整備された官舎街。夏休みには近所の子供がラジオ体操に集まる。
	<u> </u>	1920年県原蚕種製造所が移転し、22年県蚕業試験場として創立。66年旧植木町に移転。
4	法雲寺	浄土真宗本願寺派の寺院。熊本空襲、6・26水害の度に移転を繰り返し現在地へ。
15	西水前寺まちの広場	通称「パンダ公園」。一帯は地下埋設の送電線に沿って広場や平面駐車場が帯状に続く。
6	水前寺駅	1914年軽便線の駅として開業、28年国鉄豊肥線開通時に現在地へ。2003年現駅舎完成。
7	ひらはら横丁	街灯設置の際に沿線の医院にちなんで命名。夏に1日だけ開催される夜市が風物詩。
18	戸井の外(ドイノソト)公園	旧字名「土井外」に由来。「水まち水前寺にぎわい祭り」が秋に開催される。
9	新水前寺駅	1988年南熊本・水前寺間の新設駅。2011年市電との乗換利便性を向上した現駅舎が完成
20	えびす像	近隣の天草出身者所有の像を土地売却に伴い移設。国府繁栄会で10/20にえびす祭開催。
21	覚法寺	1592年、甲佐町早川で開基した浄土真宗本願寺派の寺院。1960年に現在地に移転。
22	水前寺公園郵便局	1962~78年の熊本東郵便局旧局舎(2019年解体)に78年開局。風景印の図案が成趣園。
23	九州記念病院壁画『幸福の樹』	熊本最後の映画看板師、田上賢二の作。立体作品『七福神』『西遊記』にも同氏が彩色。
24	天理教熊本教務支庁	教団の九州地区研修施設。熊本地震で本堂と土塀が被災し、2020年再建完了。
25	藻器堀(ショウケボリ)川	託麻三山の小山山を源に加勢川につながる緑川水系の一級河川。湧水が美しく鮎も遡上。 かつては暴れ川であったが1992年に改修工事が完了。散策路には肥後六花をデザイン。
	 烏渡堰(ウトゼキ)切開記念碑	
	烏渡橋(ウトバシ)際水神	↓ ┃かつて藻器堀川と加勢川との境にあった水神。8月に地元子供会による水神祭り催行。
26	水前寺プール跡	1950~63年に親しまれた市営プール跡。地下水で水温が保たれ冬季合宿にも利用された。
	3 13 3 7 7 7 7	187 年古城に創建の熊本洋学校教師館。県内最古の木造洋風建築で県指定重要文化財。
27	ジェーンズ邸 (再建中)	南千反畑、水道町を経て1970年水前寺に移築保存。熊本地震倒壊・再建で4度目の移築。
	日赤創立百周年記念碑 (移設予定)	1877年ジェーンズ邸で日赤の前身「博愛社」の設立許可されたことにより1978年設置。
28	水前寺江津湖公園(水前寺地区)	毎年3月に開催している「水前寺まつり」の会場にもなる。春には力太郎藤が白く咲く。
	水前寺蠟締所跡(肥後製蠟跡)	1803年開設の細川家直営製蠟所跡。98年肥後製蠟株式会社となる。
	熊本市体育館跡	1958年東京芝の日活スポーツセンターを移築。当時全国2位の規模。2000年解体。
29	肥後花菖蒲通り	通称「洗濯川」に整備された肥後花菖蒲の花壇とホタルが同時期に楽しめる。
30	出水神社御旅所跡	かつて秋の例大祭時に行幸が行われ、近隣住民も神馬を引くために参加したという。
3 I	夏目漱石第三旧居	熊本三番目の住居で新屋敷にあったものを移築。漱石はこの家から『草枕』の旅に出た。
	夏目漱石詩碑	1996年、漱石来熊 00年を記念して建てられた。
32	熊本市動物園跡	1929年開園時は西日本最大級。69年移転。カバ舎跡地にジェーンズ邸が移築されていた。
33	国分尼寺跡(陣山廃寺跡)	国分寺と同時期(奈良時代8世紀中頃)に創建された国分尼寺跡とみられる寺の痕跡。
34	水前寺児童公園ちびっこプール	公園は1964年に肥後銀行が寄贈。夏休み限定で子ども用湧水プールが無料開放。
35	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	蝋締所への搬出入は加勢川 (江津湖) の水運によっており、当時の舟の出入り口。
36	砂取四ツ角	旧木山往還の辻。往還は白山方面から辻を経て県立図書館前を抜けて木山へ向かう。
37	龍驤(ジョウ)館	120年以上の歴史ある剣道場。1966年には三島由紀夫が訪れて稽古をした。
) /	月日が衣 【ノ コ /) 以日	
88	国分寺	奈良時代に聖武天皇の詔で建立された肥後国分寺跡。のちに再興され、現在は曹洞宗寺院。 託麻原合戦戦没者や災害犠牲者を弔う「祈りのあかり」「国分寺サミット」などの行事も。
	国分寺石造物群	主なものに1537年建立の阿弥陀如来来迎図線刻板碑、豪潮の建立とされる宝篋印塔など。
	松尾芭蕉句碑(芭蕉塚)	芭蕉の敬愛者によって建立された句碑。天保14年(1843)の銘がある。
	砂鳥小学校跡碑	1875年に国分寺に間借りして開校された「砂鳥小」が出水小学校の発祥。
39	熊野坐神社	境内は肥後国分寺の一部と推定される。2020年に三十六歌仙の絵馬を新たに奉納した。
	熊野神社境内猿田彦大神	安政6年(1859)建立。もとの肥後国分寺の礎石の一つが台石にされている。
1 0	熊本女子商業高等学校発祥の地碑	国府高校の前身校跡地。円筒状の斬新なデザインの校舎が当時人目を引いた。
		THE PARTY OF THE PARTY WITH A TANK BY A TONING TONI
Vo.	名称	内容

No.	名称	内容
73	細川藩家老有吉家別邸跡碑	有吉家下屋敷の一部を市に寄贈。付近は特に湧水が多く「清水口」と呼ばれた。
74	砂取環境保護地区表示板	1989年条例制定の環境保護地区(現在 4ヵ所)第 号として94年2月に指定。
75	「甦る水100選」受賞記念碑	2000年建設省が選定した水環境保全事例に「甦れ江津湖 下水道クリーン作戦」が選出。
76	じゃぶじゃぶ池	足を浸けて遊ぶのに最適な湧水の浅瀬。夏は周囲の木陰が特に涼を呼ぶ。
	ヒラモ、ヒメバイカモ育成地	限られた場所にしか生息しない希少な水生植物。「日本の重要湿地」選定理由の1つ。
77	地名「神水(クワミズ)」	「美しいきれいな水」の意。神聖な水として「神水」の地名が当てられたとされる。
78	神水若宮神社	1850年清水口より遷座。雨乞いの「雨宮水盤祭」にまつわる伝承がある。
79	神水苑(シンスイエン)	細川刑部(ギョウブ)家の下屋敷の一つ。回遊式の泉水庭園。
80	加藤清正像	加藤清正が参道を寄贈したことにちなみ2011年、清正生誕450年を記念して建立。
81	健軍神社参道	清正が騎馬訓練の馬場として整備。細川氏の代に1200mに拡張。通称「八丁馬場」。
	健軍神社大鳥居	参道入口に立つ。古くは檜造りだったが平成初期に同規模のコンクリート製に再建。
	健軍神社参道大銀杏	加藤清正が、神社参道の起点として植樹したとされる銀杏の大樹。
82	加藤清正公手洗井戸跡碑	加藤清正が使ったとされる井戸の跡。
83	慈愛園	1919年米国人宣教師モード・パウラスが社会事業として創設。孤児、貧困者、傷病者の 救済に尽力した。現在は乳児ホーム、児童養護施設、高齢者施設などを運営。
		1927年宣教師の住宅兼事務所として建設。現在は記念館。国登録有形文化財。
84	神水幼稚園	園舎は1929年創立時から現在も使用されている木造平屋。国登録有形文化財。
85	日本福音ルーテル神水教会	1932年教会設立、200人収容の木造礼拝堂は5 年竣工。74年神水会館を増築。
86	二王堂板石碑	二王堂は付近の地名、板碑は16世紀初めの建立。近隣から移設されたものと推定される。
87	熊本商業高校	1895年創立、1929年現在地に第二学校設置、3 年第一学校との合併時に現在地に移転。
		193 年陸軍特別大演習での行幸を記念して旧京町校舎の樟の幼木を移植したシンボル樹。
	熊本県第二師範学校跡碑	1914年京町の熊本師範(第一師範)に次いで開校。31年、第一師範と統合した。
88	砂取小学校	1917年第二師範学校付属校として開校。32年熊本市移管で砂取尋常小学校に。
	第二師範学校付属小学校跡碑	正門を入って左手に第二師範学校付属校としての記念碑がある。
	御大典記念林石柱	1928年 月に昭和天皇即位儀礼を記念して植林したことを示す。石柱のみが現存。
89	熊本市上下水道局	マンホールカード「肥後ツバキ」を配布。1963年竣工、2011年解体の旧庁舎は村野藤吾設計。
90	熊本銀行本店『愛の泉』	彫刻『春の近きに住むもの(愛の泉)』は1984年、本田貴侶(熊本県出身)の作品。
91	東バイパス	東水前寺・神水間の着工から1972年弓削・神水間、85年全線開通。2005年6車線化。
92	熊本工業高校	1898年南千反畑に開校。大江を経て 943年現在地に移転。夏の甲子園で準優勝3回。
		1945年5月の空襲犠牲者5名、学徒動員先の長崎で殉じた2名の冥福を祈り67年建立。
	川上哲治・吉原正喜モニュメント	2008年、創立110周年を記念して、「打撃の神様」川上哲治らを顕彰するコーナー設置。
93	九州電力熊本支店	自動車学校跡地に1993年移転。1階「フラットスクエア」はカフェ併設で地域に開放。
94	熊本県立盲学校跡碑	熊本県立盲唖学校から1947年に盲学校として分離独立。70年東町に移転。
95	天授勤皇戦跡碑	南北朝時代の1378年(天授4年)「託麻原の合戦」の記念碑。1933年創設した大理石製 の初代から清浦圭吾の題字、徳富蘇峰の碑文、松原祥雲によるレリーフを継承。
96	水前寺運動公園	大正13年、皇太子ご成婚記念として建設された公設運動場を起源とする。
	国体の森記念碑	↓ 1960年10月、第15回熊本国体の開催を記念した石碑。開会式開催のメイン会場だった。
	水前寺競技場	1928年開設。1951年リニューアルを記念して熊本初の国際陸上競技大会開催。
		1928年開設。 1946年九州初のプロ野球公式戦開催。川上哲治氏の顕彰記念室併設。
	 熊本競輪場	1950年戦災復興の財源確保を主目的に開設。熊本地震被災後は場外車券販売のみで営業。
	 熊本武道館	
97	熊本聖三一教会	1886年設立。英国系キリスト教会。626水害で被災し、大甲橋際より移転。
98	熊本テルサ	1997年、県職員会館「むつみ荘」跡地に勤労者の福利厚生施設として開館。
	—————————————————————————————————————	旧石器時代~古代の遺跡。平安期の集落跡は当時の肥後国の役所や寺との関わりを示す。
	熊本県立盲唖学校跡碑	1929年、京町より移転開校。37年にヘレン・ケラー来校。聾学校が69年東町移転。
99	県庁西門通り	かつては「からいも通り」「アルコール往還」と称され、甘藷を積んだ荷馬車が行列した。
100	熊本県庁	1967年に桜町から現在地に移転。97年に新庁舎(新行政棟・警察棟)が竣工。構内には 『神水塔(流政之)』、『融(多田美波)』、熊本城模型などの芸術作品、記念植樹多数。
	 熊本県庁内郵便局	
		54本の銀杏並木は黄葉シーズンにライトアップされる。県民栄誉賞受賞者の記念植樹群も。
	 国立蚕糸試験場跡碑	1913年国立原蚕種製造所熊本支所として創立、65年旧植木町に移転後、83年廃止。
	ロンピース ルフィ像	尾田栄一郎(出水南中出身)の県民栄誉賞受賞記念。県内に9体設置される像の第1号。
		TO THE CALCULATION OF THE CALCUL

